

CASBEE®広島

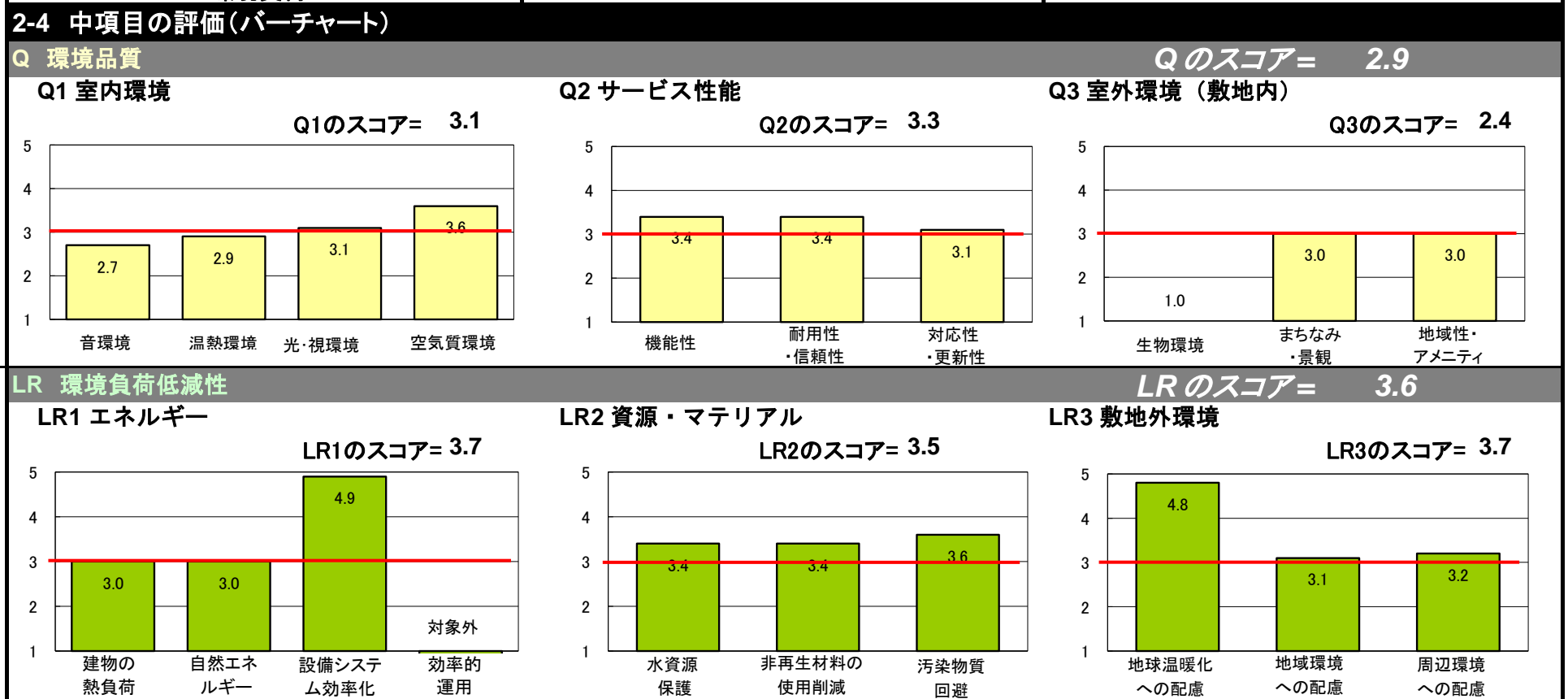
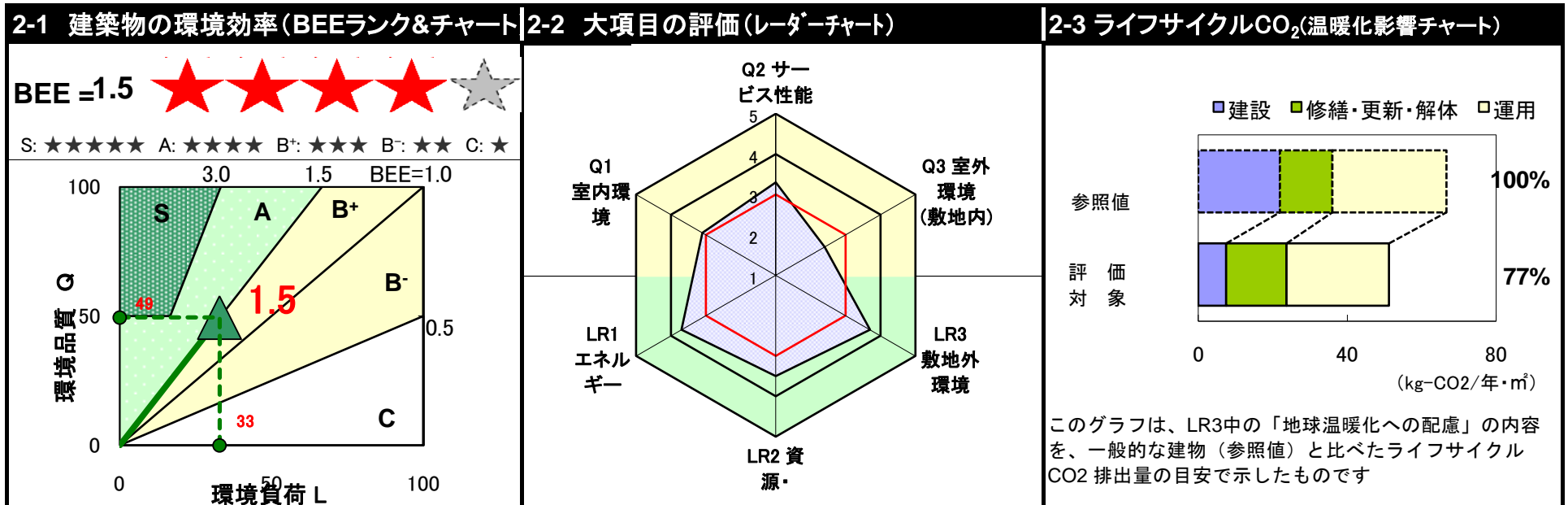
(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)中筋四丁目マンション	階数	地上15F
建設地	広島市安佐南区中筋四丁目278番 外6筆	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域 防火指定なし	平均居住人員	172 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年3月 予定	評価の実施日	2011年9月27日
敷地面積	1,827 m ²	作成者	(有)Jib建築設計工舎 多森 治義
建築面積	440 m ²	確認日	
延床面積	4,065 m ²	確認者	



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.3

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.7	スコア = 1.9	スコア = 3.3
設計の計画上特段に配慮した事項 住宅性能評価における省エネルギー対策等級3の基準を満たす仕様とした。// 設備システムの効率化を図る為、エコキュートを採用した。// 節水型の給水器具を採用した。// 可能な限りCO ₂ の排出を削減する。	設計の計画上特段に配慮した事項 オール電化とすることで燃焼機器をなくし、大気汚染物質を排出しない。又、敷地内に出来る限り植栽を施した。// 全住戸分の駐車台数の確保している。	設計の計画上特段に配慮した事項 コンクリート躯体の劣化については住宅性能評価の劣化対策等級3の基準を満たしている。// 躯体に影響を及ぼさない範囲で設備のメンテナンス、更新が可能なレベルを確保する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される